

2015年11月16日

日本テレビ放送網株式会社

代表取締役 社長

大久保 好男 殿

貴社制作動画「セクシー・ラグビールール」に関する質問状（第二回目）

日本スポーツとジェンダー学会

会長 掛水通子

晩秋の候、貴社いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。

過日、一般社団法人日本体育学会および日本スポーツとジェンダー学会の連名で送付した公開質問状（2015年9月7日付）への回答を9月24日付でお送りいただき、ありがとうございました。質問状ならびに回答は公表する旨、お伝えしておりましたとおり、現在、両学会のホームページには質問状と回答の両方を掲載しております。ご確認ください幸いです。

イングランドでのワールドカップ終了後、日本代表選手団の活躍もあって、国内ではラグビー熱が高まっております。こうした社会の変化には、貴社のホームページにおけるルール解説動画が実際の選手のプレー動画を利用したものに変更されるなど、貴社の誠実なご対応が影響するものと拝察しております。

そこで、前回のご回答において、「社内の関係部署で今回の経緯を検証し、今後、このようなご批判を受けないよう、現在チェック体制の見直しを行っております。」とありました点について、どのようなチェック体制の見直しが行われたかの結果、ないしはその作業の進捗状況についておうかがいしたく、再度、質問状をお送りさせていただくこととしました。貴社が現在行っておられる検証・見直し作業は、大きなスポーツイベントを抱える日本のメディア全体にとっても、またスポーツとジェンダーに関わる学術的側面でも、有益な資産となることはいまでもありません。

日本スポーツとジェンダー学会では、貴社のご協力をいただき、諸外国の事例なども含めながら、学術的側面からの検証を行った上で、提言やガイドライン等の何らかの成果を社会に示すことによって、公平・公正なスポーツ文化の育成に貢献していきたいと考えております。

お忙しいところ、さらなるお手数をおかけいたしますが、以下 2 点についてお知らせください。

1. 貴社内部における検証の状況
2. チェック体制の主な変更点

前回と同様、本質問状ならびに貴社からのご回答につきましては、メディアおよび学会の双方による社会貢献を目的に、ホームページにて公開する等、広く共有する予定です。

誠に勝手ながら貴社からのご回答の期限は 2015 年 12 月 7 日（月）とさせていただきます。

なお、学術的専門性の観点から、検証および提言等の作成に向けた検討については、前回に連名で質問状をお送りした一般社団法人日本体育学会理事会から本学会が委任されております。

以上